

第3次七戸町長期総合計画策定のための 町民ワークショップ報告書

■ 町民ワークショップの目的と趣旨

第3次七戸町長期総合計画の策定に向けて、七戸町民やこれからの行政を担う若い行政職員のまちづくりに対する想いを聞くための機会として開催しました。

ワークショップをとおして七戸町の現況に対する共通の認識を持ち、より良い七戸町としていくための方法について参加者間の理解を深めます。そして、七戸町の将来像について意見やアイデアを抽出し、計画策定のための基礎資料として反映させることを目的とします。

■ 各回の開催概要と実施の様子

第4回 グループワーク③

- (1) 日 時 令和7年1月24日（金） 18：00～19：00
- (2) 場 所 七戸町役場本庁舎 第1・2会議室
- (3) 参加者 14名 （七戸町民7名、七戸町役場職員7名）
- (4) 次 第
 - ① あいさつ
 - ② 全体説明
 - ・第3回ワークショップ報告書の共有
 - ・前回のグループワークで出た意見の振り返り
 - ・今回の作業内容の説明
 - ③ グループワーク
 - ・第3回で挙げられた様々な意見の中から「特に取り組みが必要」「重要度が高い」と思う項目を取り上げ、実際に長期総合計画へ掲載することを想定して文章化する。
 - ・発表準備
 - ④ 各班成果発表
 - ⑤ 町民ワークショップの総括

(5) 実施内容

① あいさつ

- ・七戸町役場企画調整課 田中課長より挨拶。

② 全体説明

- ・第3回ワークショップの開催概要などについてまとめた報告書を共有しました。
- ・前回のグループワークで出た意見を全員で振り返りました。
- ・今回のグループワークの作業内容と流れを確認しました。

③ グループワーク

- ・A、B、Cの3班に分かれ、各班1名ずつリーダーを指名しました。
- ・第3回の見取図を見ながら、出された意見の中で「ぜひ計画に反映して取り組んでほしい」「重要度が高い」と思う項目を選びました。
- ・選んだ項目を実際に長期総合計画へ掲載することを想定し、文章化あるいはキャッチコピーを作成しました。
- ・グループワークの内容は各班に配布されたA3版のワークシートに記入してもらいました。
- ・各班成果発表に向け、発表する内容と代表者を決めました。

④ 各班成果発表

- ・A→B→C班の順で、グループワークで出た意見やまとめた内容を発表しました。
- ・発表はワークシートをデータ化し、投影して行いました。

⑤ 町民ワークショップの総括

- ・七戸町役場企画調整課 田中課長より、全4回のワークショップを終えての総括。

(6) 要 旨

A班では、特に取り組みが必要な項目として「生活基盤」を取り上げました。楽しいと思えるイベントの開催や気軽に参加できる地域交流の場を増やすこと、学校と連携し町内の職業に触れる機会を増やすことなど、人が集まる取り組みを促進することで「町民が住んで良かったと思えるまちづくり」を目指すとししました。

B班では、項目として「生活」を取り上げ、その中で特に「魅力を伝えるためのアピール方法」について挙げられました。町が強く推すものを明確にし、誰に向けての情報なのかターゲットを絞って広報活動を行うこと、また自然、文化、産業など項目ごとに尺の短い動画を制作するなど、情報発信の効果をより高いものとする事で町の魅力を多くの人に知ってもらい、町の活性化につなげるとしました。

C班では「シビックプライドを高める」ことを強調しました。シビックプライドは、地域に対して住民が誇りに思う気持ちや愛着、さらに地域に貢献したいという意識のことを指し、地域の活性化のためには、まずそこに住む住民が地域について知ることが第一であるとししました。そして住民が一体となってよりよい町を目指すべきという思いから、「地域を知り 共に創ろう」というキャッチコピーにまとめました。

A 班

1 選んだ項目

『生活基盤』



2 文章・キーワード・キャッチコピーなど

「町民が住んで良かったと思えるまちづくり」

- ・楽しいと思えるイベントの開催。
- ・活発な（行きやすい）地域交流の場を増やす。
- ・小、中学校で町内の職業体験（見学）の場を増やす。

B 班

1 選んだ項目

『生活』

魅力を伝えるためのアピール方法



2

文章・キーワード・キャッチコピーなど

- ・ 町でのおしは何か。
- ・ 見る人到的を絞った広報活動。
- ・ 尺の短い動画を項目ごとにたくさん作る。
(お祭り、自然、農業、文化、遺産)

C 班

1 選んだ項目

シビックプライドを高める



2 文章・キーワード・キャッチコピーなど

地域を知り 共に創ろう